

900年以上もの歴史を持つシャトー。一時期、フィロキセラで畑が壊滅、経営もどん底に……
 1986年よりフィリップ・ラウー氏が荒廃していた畑の復活と品質向上、シャトー再建に着手。
 見事に1995年ACマルゴーの再認定を勝ち取り、かつての栄光を取り戻した奇跡のシャトーです。



Château d'Arsac

シャトー・ダルサック

【900年の歴史】

始まりは12世紀、所有者は貴族のシル家。16世紀に有名な哲学者を輩出したモンテーニュ家、19世紀にセギュール伯爵家、そのうちアルサック男爵家の手に渡った。19世紀末にはドック最大級のブドウ園に成長。しかし20世紀に入りフィロキセラ禍に見舞われ、ワインの売上は激減。1930年半ばには畑は完全に見捨てられ、1954年にマルゴー村のアペラシオンが制定された際も認定外となってしまったのである。



しかし1986年にシャトーは不死鳥のような復活を遂げる。アルサックを購入したフィリップ・ラウー氏は、直ちにシャトーの再建に乗り出した。まずは広さ112haのブドウ畑の復活と品質向上が最優先であった。ラウー氏はマルゴー村ACの再認定を受けるため INAO (フランス国立原産地名称研究所) につけあひ、粘り強い交渉の末、異例の措置を勝ち取る。ブドウ園のうち54haはACマルゴー、残りはACオー・ドックの格付けを名乗れるようになった。

その後、ラウー氏の卓越した先見の明は、ワインとブドウ畑、そしてアートの緊密なコラボレーションを産み出す。ワイナリー外観を鮮やかなエレクトリック・ブルーにペイントし、庭園にはモダンアートの彫刻を多数、配置。斬新な発想を採り入れた改修のお蔭で、シャトー・ダルサックは人目を惹きつける、ドックで最も独創的なシャトーの一つとなったの。



シャトー・ダルサック 2014

参考上代 ¥5,500

原産地: AC マルゴー (クリュ・ブルジョワ)

品種: カベルネ・ソーヴィニヨン60%、メルロー40% 熟成: フレンチオーク樽 12ヶ月

収穫量: 45 hl/ha 平均樹: 20年 土壌: 小石混じりの砂質

芳醇なフレッシュなカシスの香りと、いきいきとした酸味と柔らかなタンニン。魅力あふれる果実味豊かなワインです。

ワインエンスージアスト 90点

ジェームズ・サックリング 89点

ジャンシス・ロビンソン 16.5点

ワイン・アドヴォケート 87点

ワインメスペクテイター 87-90点

■ロバート・パーカー コメント

最初はやや過剰とも思われるアロマだが、空気に触れるとともに、フレッシュさと魅力的な砂利質の香りが生きてくる。ミディアムボディ。やや硬い印象だが、バランスに優れ後味はエレガントにまとまっている。パワフルな2014年ヴィンテージらしい、十分満足できる味わい。

